

# 彩のかがやき

## 高温対策を実施しましょう！

平成30年7月20日  
埼玉県農林部

### 彩のかがやきの生育状況

高温により生育は早まり、葉色の低下しているほ場が多くみられます。  
早植栽培（5月植え）は、幼穂形成期を迎え穂肥施用時期です。  
普通栽培（6月植え）は、中干し～最高分けつ期です。

### 今後の見通し

8月、9月とも気温は高いと予報されており、出穂後20日間の平均気温が27℃を上回ると、高温により白未熟粒の発生する危険性が高まります。

### 対策

#### 1 葉色確認と穂肥

白未熟粒の発生を軽減するために最も重要な対策は、葉色診断に基づく適期・適量の穂肥の施用です。

彩のかがやき穂肥施用時期の目安

田植時期	穂肥施用①	穂肥施用②	出穂期予定時期
5月20日	7月21日	8月2日	8月12日～14日
5月30日	7月24日	8月6日	8月16日～18日
6月10日	7月26日	8月10日	8月20日～21日
6月20日	7月30日	8月14日	8月24日～25日

基肥＋追肥体系でも基肥一発体系でも、穂肥施用②の時期（出穂15～10日前）に葉色が4を下回った場合、必ずチッソ成分で2kg/10a程度の追肥を行いましょう。

#### 2 水管理

穂肥施用時期～出穂7日後までは湛水状態を保ち、それ以降は水を入れっぱなしにせず、田に入水したら水口を閉め、自然に落水させる間断かん水を行い根の活力維持に努めましょう。

かけ流しかん水は、用水不足を助長する恐れがあるので絶対にやめましょう。

**農作業中の熱中症にご注意ください。**